改訂日:2025年1月24日

安全データシート

1. 製品及び会社情報 製品名 推奨用途 会社名 住所

電話番号

整理番号

2. 危険有害性の要約 GHS分類

健康に対する有害性

ラベル要素

絵表示又はシンボル

注意喚起語 危険有害性情報

注意書き

3. 組成、成分情報 化学物質・混合物の区別 化学名 別名 化学式又は構造式 化学物質を特定できる一般的な番号 成分及び含有量 官報公示整理番号(化審法、安衛法)

4. 応急措置 吸入した場合

その他

皮膚に付着した場合

目に入った場合

飲み込んだ場合

5. 火災時の措置 適切な消火剤 使ってはならない消火剤 特有の危険有害性 特有の消火方法

消火を行う者の保護

6. 漏出時の措置 人体に対する注意事項, 保護具及び 緊急時措置

メタりん酸 試験研究用

米山薬品工業株式会社

大阪市中央区道修町2丁目3番11号

(06)6231-3555(大阪·本社)

(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田) (052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)

GD3004

皮膚腐食性/刺激性:区分1

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性:区分1



危険

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

重篤な眼の損傷

【安全対策】

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

取扱い後は手をよく洗うこと。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】

飲み込んだ場合:口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させ ること。

皮膚(または髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこ と。皮膚を水【またはシャワー】で洗うこと。

眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着 用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 直ちに医師に連絡すること。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

【保管】

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に 業務委託すること。

化学物質 メタリン酸

CAS RN: 37267-86-0 37.0% (HPO3として) (1)-422 / 公表

HSコード: 2809.20

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医 師に連絡すること。

直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。皮膚を大量の流 水、シャワーで洗うこと。直ちに医師に連絡すること。

水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易 に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡 すること。

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師に連絡すること。

水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類 該当情報なし。

該当情報なし。

危険でなければ火災区域から容器を移動する。 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。 適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

全ての着火源を取り除く。

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。

関係者以外の立入りを禁止する。

風上に留まる。

密閉された場所は換気する。

作業の際には適切な保護具を着用し風上から作業して、風下の人を退避

させる。

該当情報なし。

少量の場合:砂又はパーミキュライト等の不燃性吸収剤で除去し、水で洗

い流す。

大量の場合:土のう、土砂で流出防止をし容器へ回収する。

危険でなければ漏れを止める。

すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

環境に対する注意事項

封じ込め及び浄化方法・機材

回収. 中和

取扱い

技術的対策

二次災害の防止策

局所排気 • 全体換気

安全取扱い注音事項

適切な保護衣、手袋及び眼/顔面保護具手袋を着用する。

取扱いについては、できるだけ密閉化を行うか、局所排気装置を利用す

る。

取扱い後はよく手を洗うこと。

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

飲み込まないこと。

皮膚と接触しないこと。

眼に入れないこと。

接触回避

保管

技術的対策 適切な保管条件

混触危険物質 容器包装材料

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度 許容濃度等

日本産業衛生学会

ACGIH 濃度基準値

設備対策

保護具

呼吸器の保護具 手の保護具 目の保護具

皮膚及び身体の保護具

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 色.

臭い

融点/凝固点

沸点又は初留点及び沸点範囲

燃焼性

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

引火点 自然発火温度 分解温度

n-オクタノール/水分配係数 蒸気圧

溶解度

密度及び/又は相対密度

相対ガス密度 粒子特性

10. 安定性及び反応性

安定性

危険有害反応可能性 避けるべき条件 混触危険物質

危険有害な分解生成物

11. 有害性情報 急性毒性

強酸性なのでアルカリ性物質との混触を避ける。

該当情報なし

混触危険物質との接触。火源との接触。

日光から遮断し、換気の良い場所で保管すること。 容器を密閉して換気の良い冷所で保管すること。

施錠して貯蔵すること。

強酸性なのでアルカリ性物質との混触を避ける。

ポリプロピレン

未設定

未設定

未設定

8時間: 未設定

短時間: 未設定 作業場には防爆タイプの全体換気装置、局所排気装置を設置すること。

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置す

適切な呼吸器保護具を着用すること。

適切な保護手袋を着用すること。

適切な眼の保護具を着用すること

適切な顔面用の保護具を着用すること。

固体

無色

無臭

該当情報なし。

該当情報なし。

該当情報なし。 該当情報なし。

該当情報なし。 該当情報なし。

該当情報なし。

酸性(水溶液)

潮解性がある。水に溶ける。 該当情報なし。

該当情報なし。

2~2.5

該当情報なし。

該当情報なし。

潮解性がある。

強酸性なのでアルカリ性物質との混触を避ける。

混触危険物質との接触。火源との接触。

塩基

りん化合物

該当情報なし。

皮膚腐食性·刺激性 眼に対する重篤な損傷・刺激性 呼吸器感作性又は皮膚感作性 生殖細胞変異原性 発がん性 牛殖毒性 特定標的臓器・全身毒性-単回暴露 特定標的臓器・全身毒性-反復暴露

誤えん有害性 12. 環境影響情報 生態毒性

短期 該当情報なし。

(急性):

長期 該当情報なし。

(慢性):

該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。

pHにより分類した。

pHにより分類した。

該当情報なし。

該当情報なし。 該当情報なし。

該当情報なし。

該当情報なし。

該当情報なし。

該当情報なし。

当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。

13. 廃棄上の注意

残留性•分解性

土壌中の移動性

オゾン層への有害性

生態蓄積性

化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上 望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

14. 輸送上の注意

国連番号

品名(国連輸送名) 国連分類 容器等級

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

国内規制がある場合の規制情報

陸上輸送 海上輸送 航空輸送 応急措置指針番号

15. 適用法令

化学物質管理促進法(PRTR法) 労働安全衛生法 毒物及び劇物取締法 消防法

16. その他の情報 引用文献

3260

腐食性固体(酸性、無機物) クラス8 (腐食性物質)

運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がな いよう積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。

消防法の規定に従う。 船舶安全法の規定に従う。 航空法の規定に従う。 154

指定化学物質に該当しない。 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物に該当しない。 毒物及び劇物に該当しない。 危険物に該当しない。

安全衛生情報センターHP NITE-CHRIP(製品評価技術基盤機構HP) 化学品安全管理データブック(化学工業日報社) 17423の化学商品

記載内容のうち、含有量、物理/化学的性質等の数値は保証値ではあり ません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありま せんので取り扱いには十分注意して下さい。